

長崎県の“いま”を伝える広報誌

つたえる県 ながさき

TSU TA E RU KEN・NA G A S A K I

P4

地域特集

kon-ne長与

P6

県政特集

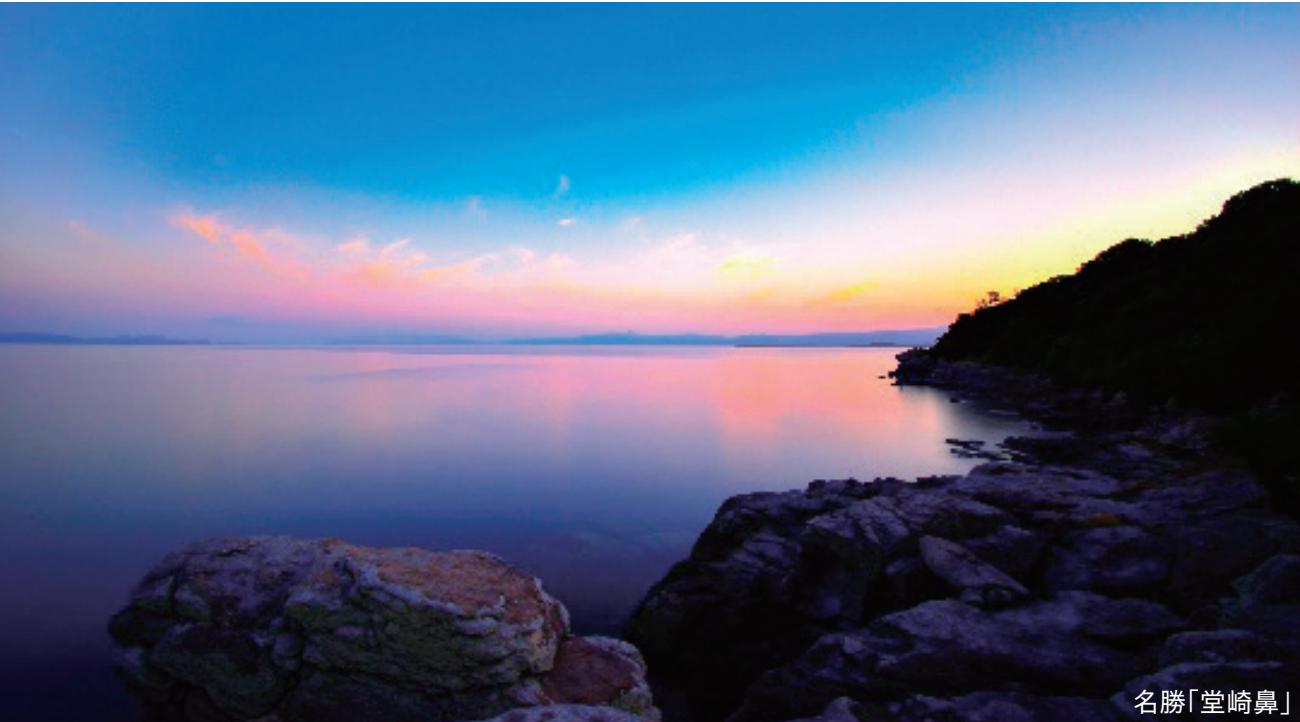
九州新幹線西九州ルート 全線フル規格整備の実現に向けて

2026

令和8年

1

vol.117



名勝「堂崎鼻」

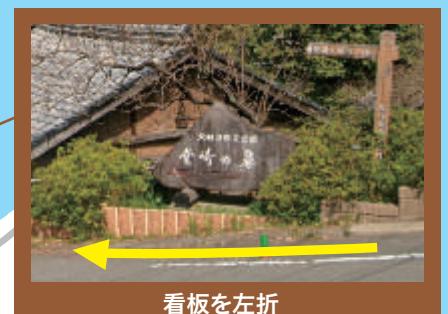


ながさきを「歩こーで！」 長与町シーサイドストリートコース

県では、「長崎健康革命」をキャッチフレーズに、運動・食事・禁煙・健診の4つの柱で、県民一人一人が主体的に健康づくりに取り組める環境をつくりています！

VIEW POINT **名勝「堂崎鼻」**
ごつごつした岩場の海岸で潮風を感じながら、穏やかな大村湾の絶景を望むことができる。周辺には、旧石器時代の石器などが発掘された、堂崎遺跡もある。

「長与総合公園」から名勝「堂崎鼻」まで約5km(約1時間)のウォーキングコースです。アップダウンはありますが、雄大な大村湾の絶景を楽しめます。



看板を左折



大村湾沿いのキャンプや磯遊びができる公園。のんびりと大村湾の景色を眺めることができます。

ウォーキングするなら、ながさき健康づくりアプリ「歩こーで！」
「歩こーで！」はウォーキングや生活習慣の記録、健康イベント参加などでポイントがたまる県公式アプリです。ためたポイントを使って、協力店でのサービスを受けられるほか、県産品が当たる抽選会に応募できます。アプリで楽しく、気軽に健康づくりを始めましょう！

「歩こーで！」のダウンロードや
詳細はウェブサイトをご覧ください！

歩こーで！ 検索



フルツの森
ひさ家のまいど～なつ
(5種セット)

詳しくはP15をご覧ください。

県のウェブサイトに
音訳版を掲載して
います



つたえる県
ながさき

vol.117 2026年1月号
(発行)長崎県広報課
〒850-8570(住所不要)
☎095-824-1111
(デザイン)株式会社 長崎新聞社



ミックス
紙に責任ある森林
管理を実践しています
www.fsc.org

新年明けましておめでとうございます。
県民の皆様には 健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、県では総合計画が最終年度を迎える中、新たな視点や発想を取り入れながら、積極的かつ着実に事業の推進へ取り組み、本県の未来を切り拓く大きな可能性の兆しに繋げることができました。

将来を担う子どもたちが健やかに成長し、多様な活躍に繋がる社会を実現するため、昨年3月に「長崎県こども未来応援基金」を創設し、安全・安心な「こどもの居場所」や、冒険などチャレンジできる「こどもの体験」を提供する「こども場所」の充実に向けて取り組むなど、子育て環境の整備を進めました。

また、九州初となる遠隔授業の拠点として長崎県遠隔教育センター「DECCTT（デックト）」を昨年4月に開設し、地理的要因や学校規模にとらわれない、多様で豊かな学びの提供を推進しました。

一方、本県の離島・半島を多く抱える地理的特性や人口減少など様々な課題がある中、県民の皆様の生活がより豊かで快適になるよう、最先端技術の活用にも取り組みました。

ドローンの活用については、本県初となる国家戦略特区の指定に伴い、昨年11月には、全国で初めてエリア単位でのレベル4飛行（目視外で民家上空等を飛行可能）による医薬品・日用品の配送が実証され、本県の物流や配達

の未来をえていく大きな歩となりました。

また、農林水産業においても、生産者の所得向上を目指し、スマート技術の導入・拡大等により、担い手不足や生産コストの増加などの課題に対応するとともに、トップセールスによる販路拡大の支援を行うなど、儲かる農林水産業の実現を図りました。

さらに製造業においては、半導体や航空機など成長産業の需要を県内に取り込むため、県内企業の販路拡大や技術力向上、人材確保等の支援にも取り組みました。企業誘致も進む中、県内では、こうした成長分野においても新たな産業の芽が育ちつつあり、産業構造に変化の兆しが見え始めています。

また、昨年は県内外の皆様との交流が進んだ年でもありました。9月から11月にかけて、全国規模の文化の祭典「ながさきピース文化祭2025」を開催しました。開会式には、天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、本県の多種多様な文化の魅力を全国に発信する貴重な機会となりました。

10月には、国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州」が本県で初めて開催され、国内外の18チーム、106名の選手が、佐世保らしい港の風景を背景に、世界トップクラスのスピードと迫力ある走りで多くの観客を魅了しました。

さらに、11月の「ポケモンGO ワイルドエリア」には、海外からも含めて約42万人が来島しました。また、韓国の航空会社と継続した協議の結果、本年1月4日から、長崎―釜山間で週3便の定期航空路線の運航が決定しました。

引き続き、地域の活性化や産業の振興における定期航空路線の運航が決定しました。

また、韓国の航空会社と継続した協議の結果、本年1月4日から、長崎―釜山間で週3便の定期航空路線の運航が決定しました。

引き続き、地域の活性化や産業の振興における定期航空路線の運航が決定しました。

2025年を振り返って

被爆80年

被爆80年を迎える中、9月12日から13日にかけて天皇皇后両陛下と愛子さまが長崎市をご訪問されました。平和公園でご供花されたほか、長崎原爆資料館では被爆の実相を伝える展示品をご覧になり、被爆者や被爆伝承者の方々とご懇談されました。また、恵の丘長崎原爆ホームでは入所者のお話に熱心に耳を傾けられました。愛子さまにとっては初めての長崎ご訪問。戦後80年の「慰靈の旅」の締めくくりとなりました。



平和公園でのご供花

ながさきピース文化祭2025

9月14日から11月30日までの期間、全国規模の文化の祭典「ながさきピース文化祭2025（第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭）」を開催しました。「文化をみんなに」をキャッチフレーズに、本県の文化資源を生かしたイベントや文化活動の全国大会など、魅力溢れる多彩なプログラムを県内外の多くの皆さんに楽しんでいただきました。本文化祭を契機として、県民の皆さんにより一層、文化芸術に親しんでいただけるよう取り組んでいきます。



第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭

令和7年 9月14日（土）→11月30日（日）

マイナビ ツール・ド・九州 2025佐世保クリテリウム

10月10日から13日にかけて、国際サイクルロードレース「マイナビ ツール・ド・九州2025」が長崎県、福岡県、熊本県、宮崎県、大分県を舞台に開催され、本県では、10日に佐世保市において、短い距離を周回するクリテリウム形式のレースが行われました。コースの沿道では、世界トップクラスのスピードや技術を駆使して疾走する選手に、観客から熱い声援が送られました。著名人によるトークショーやBMXパフォーマンスなどの関連イベントも開催し、多くの来場者でぎわいました。



レースの様子

Pokémon GO ワイルドエリア:長崎

県では、(株)ポケモンと連携協定を締結し、県内の観光周遊促進など地域の活性化に連携して取り組んでいます。

そのような中、11月7日から9日までの3日間、長崎市で人気スマートフォンゲームの大規模イベントである「Pokémon GO ワイルドエリア:長崎」が開催され、国内外から約42万の方々が参加しました。市街地周遊型での開催は初めてで、参加者の皆様に市内の観光地や街並み、ご当地グルメを堪能していただきました。



伝説のポケモン「レックウザ」をモチーフにした龍踊



長崎県知事 大石 賢吾

の方々が参加され、長崎県の豊富な食や観光地等を楽しんでいただき、地域経済に大きな効果があつたと感じています。

加えて、V・ファーレン長崎が見事にJ1昇格を果たされ、長崎ヴエルカの活躍も相まって、県内外から多くの皆様に応援にお越しいただきました。

こうした交流の更なる促進に必要な交通インフラ等の整備も進んでいます。昨年12月、西九州自動車道の松浦IC→平戸IC間が開通し、福岡方面から平戸市へのアクセスが、飛躍的に向上しました。

また、韓国の航空会社と継続した協議の結果、本年1月4日から、長崎―釜山間で週3便の定期航空路線の運航が決定しました。

引き続き、地域の活性化や産業の振興における定期航空路線の運航が決定しました。

とつて極めて重要な法律である有人国境離島法が、令和9年3月に失効期限を迎える。県では、市町の皆様と連携し、あらゆる機会を捉えて、法の改正・延長や支援の拡充について、国等へ強く働きかけてまいります。また、多くの国境離島を有する長崎県に法を捉えて、法の改正・延長や支援の拡充について、国等へ強く働きかけてまいります。また、全線フル規格による整備の早期実現に力を注いでまいります。

こうした中、県では昨年、令和8年度からの5年間の指針となる「長崎県総合計画みどりの未来図2030」を策定しました。「な

がさきの誇りと希望を力に、みんなで夢あふる未来をひらく」を基本理念に掲げています。同じく昨年策定した「ながさきブランディング・情報発信戦略」やロゴ等も活用しながら、引き続き、多方面から選ばれる「新しい長崎県」の実現に挑んでまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

開業4年目を迎える西九州新幹線は、良い機会にもなりました。

開業4年目を迎える西九州新幹線は、年々利用者数が増加するなど、利用状況も順調に推移しています。西九州ルートの未整備区間（新鳥栖→武雄温泉間）についても、関係者の動きが活発になり、議論も加速しています。引き続き、政府・与党に課題の解決を働きかけるとともに、関係者と協議を重ねながら、引き続き、政府・与党に課題の解決を働きかけるとともに、関係者と協議を重ねながら、

長崎県立大学シーポルト校 情報システム学部の皆さん



長崎県立大学シーポルト校情報システム学部の学生有志は、プログラミングに親しんでもらうとともに子どもたちの夏休みの居場所をつくろうと、毎年「長与町親子プログラミング教室」を長与町と開催。小学4~6年生と保護者にプログラミングの基礎を教えています。また、県内のイベントに不定期で参加することもあります。プログラミングの楽しさを伝えています。情報システム学科3年の後田さくらさんは「意欲のある子に教えることができ、刺激になる」と受け止めています。また、長与町やシーポルト校の魅力について、「緑に囲まれ、長与川も近くにあり、心のリフレッシュができる環境で学べています」と話します。

ところ 西彼杵郡長与町まなび野1-1-1

ミカン香る生ソーセージ



ながさき雪の浦 手作りハム

抗生素質の使用を極力抑えて育てられた県産の「SPF豚」のみを使い、無添加・低添加のハムやソーセージなどを販売。長与町産の無農薬ミカンの皮を練り込んだ生ソーセージは、ほのかに香るミカンの風味が人気です。2025年IFFA日本食肉加工コンテストのソーセージ部門で優勝しました。

ところ 西彼杵郡長与町高田郷1677-6

営業 11時~18時 ※水曜定休(不定休あり)

095-887-2568



代表 岩永龍介さん

地域のニューストピックを紹介

「新図書館等複合施設」が2027年4月に開館予定

長与町図書館と町健康センターが併設する新図書館等複合施設「ホンテラッセ長与」が、2027年4月に開館予定です。名称は、「本」とドイツ語で小高い丘を意味する「テラッセ」、「照らせ」を掛け合わせた造語で、屋根には太陽光パネルを設置し、建物全体で消費エネルギー収支をゼロにする『ZEB』の認証を受ける予定です。

もたちの思い出になればと始めた「ながよみかん祭り」は、現在も続くイベントに成長。「子どもだけでなく、年配の方まで来てくれるようになります」と笑います。

活動の中でもう一つ大事にしているのが地域住民の「居場所づくり」。親子料理教室を定期的に開くほか、2025年11月には食事を通じて交流する「みんなの食堂サン」を初めて開催しました。参加条件は定めず誰でも自由に参加でき、地域交流の場だけで、親でも先生でも友達でもない大人が話を聞いてくれる、子どもたちにとってそんな居場所になつてほしい

と願っています。仕事の傍ら、毎月のようにイベントを開催する山辺さん。その活動の原動力は大好きなふるさとへの思いであります。「地域コミュニティーや町の事業所を巻き込みながら、長与町全体で盛り上がりしていくきっかけを作り続けたい」と話します。現在は町内のフリースペースで、女性が一人でもお酒を楽しめるバーの運営も開始。「地域が良くなるということは、住んでいる人が楽しく豊かに生活し、喜びを感じること」。町民全員が輝ける町を目指し、地域を巻き込んで活動の場を広げたいと意気込んでいます。

大好きな長与町 住民みんなで盛り上げたい



長与町岡郷
ながよみかん娘 総監督
やまべ
山辺あゆみさん

「生まれ育った長与町を盛り上げたい」。生まれも育ちも長与町という「ながよみかん娘」を結成し、町の活性化のため奮闘しています。その活動の原動力は、大好きなふるさとへの思いです。山辺あゆみさんは、友人らと「ながよみかん娘」を結成し、町の活性化のため奮闘しています。その活動の原動力は、大好きなふるさとへの思いです。

「ながよみかん娘」の「総監督」として企画運営に携わる山辺さんは、「長与町は海、山、川など自然が豊かで、長崎市にも近く住みやすい。のんびりとした豊かな時間が過ごせる町」とふるさとの魅力を語ります。そんな魅力を発信しようと、動画投稿サイトに町内の店舗や町の特産品を使ったレシピを紹介する動画を投稿していたところ、同じような「長与好きっ子」が集結。2021年9月にながよみかん娘を結成し、地域活性化に向けた活動を続けてきました。

「ながよみかん娘」の活動は、町内でのイベント開催や子どもから大人まで自由に過ごせる「居場所」の運営、清掃活動など多岐にわたります。結成当初は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、多くのイベントが中止や延期を余儀なくされた時期でした。日常生活が制限されている子ども

中尾城公園



「ふれあいと希望の森」として整備され、1996年に完成。公園のシンボルである赤い橋「エアロブリッジ」から見える景色は絶景。サクラの時期は花見客でにぎわいます。遊具のリニューアル工事中で、2026年秋ごろに完成予定です。

吉無田獅子舞



江戸時代末期、吉無田地区に伝わったとされており、五穀豊穣などを祈願。「暴れ獅子」とも言われており、ダイナミックな動きが見どころです。摩利支尊天王神社の祭礼「吉無田くんち」などで奉納されています。

全線フル規格整備の効果

全線フル規格整備により関西直通運行が実現すると、以下のような整備効果があると考えられています。

①時間短縮効果

長崎から博多までは今より約29分、新大阪までは約38分の時間短縮効果が生まれます。また、武雄温泉駅での乗り換えが不要となるため、心理的には実際の時間短縮効果以上のメリットを感じることができますと言われています。



②西九州地域における経済効果

本県も国土軸(※)に組み込まれることになり、交流人口の拡大や企業立地の促進などによる経済の活性化が期待されます。

※国土軸…新幹線・高速道路・高規格通信網によって結ばれた、人口・産業が集積する軸上の地域

③災害などへの対応力強化

新幹線は専用の高架を走行するため、天候や事故による輸送障害が在来線より少なく、大雨や大雪により高速道路が通行止めになった場合などの代替輸送機能としても期待されます。

気運醸成に向けた動き

県では、関係団体などと連携しながら、全線フル規格整備の実現に向けた気運醸成に取り組んでおり、西九州ルートを取り巻く環境は、徐々に変化しています。引き続き、佐賀県やJR九州、国と意見交換を重ねながら、足並みをそろえて進められる環境づくりに努めています。

沿線地域外の理解促進

新幹線の沿線地域外でイベントを開催し、にぎわいを創出することで新幹線の効果を実感してもらい、新幹線への関心を高めてもらう取り組みを行っています。

開業3周年を記念し波佐見町で開催したイベントでは、新幹線を利用して参加された方など、約3,500人の来場でにぎわいました。



民間との連携

新幹線を貸し切り、子どもたちが大村車両基地を見学するツアーをJR九州とともに実施しました。車両基地の見学や写真撮影などを通じて、新幹線の魅力を体験してもらいました。今後も関係団体などと連携して、かもめの魅力を発信していきます。



シンポジウムの開催

昨年8月29日、福岡市で経済団体主催の「九州新幹線西九州ルート整備促進シンポジウム2025in福岡」が開催され、約800名が参加し、インバウンドの呼び込みや産業立地による地域の活性化など、新幹線がもたらすさまざまな効果が紹介されました。新幹線が西九州地域だけでなく日本全体の発展につながるインフラであることが改めて確認され、県内だけでなく、県外でも早期整備実現に向けて気運が高まっています。

国への働きかけ

昨年9月4日、大石知事と外間県議会議長、沿線の各市長および市議会議長、県内3経済団体が首相官邸を訪れ、全線フル規格整備の早期実現と課題に対する具体的な解決策の提示などを要望しました。県では今後も国に対して強く働きかけていきます。



国への要望の様子

県政 特集

九州新幹線西九州ルート 全線フル規格整備の実現に向けて



九州新幹線西九州ルートの長崎～武雄温泉間は開業から3年が経過し、利用者数の増加や地域の変化など、効果が着実に表れています。一方で武雄温泉～新鳥栖間の整備方式は未だ決定しておらず、県では全線フル規格整備の早期実現に向けて取り組んでいます。

九州新幹線西九州ルート(長崎～武雄温泉間)の概要

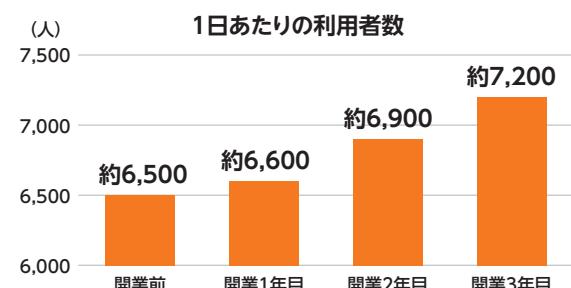
◆所要時間

現在、長崎～武雄温泉間は新幹線かもめ、武雄温泉～博多間は在来線特急リレーかもめが運行されています。

新幹線開業による、長崎～博多間の所要時間は最速1時間20分です。新幹線の開業前と比べて、約30分短縮されました。

◆利用状況

開業3年目の1日あたりの利用者数は延べ7,000人を超えて、開業当時から年を追うごとに増加しています。開業後3年間の利用者数は約758万人にのぼり、多くの方が新幹線を利用しています。また、日常的な利用も進んでいて、開業当初より約3倍となる692名の方が通勤・通学に定期券を利用しています(令和7年8月末時点)。



※開業前は2018年9月23日～2019年9月22日の長崎～諫早間の特急かもめの利用者数



未整備区間の現状について

令和4年9月、九州新幹線西九州ルートは、長崎～武雄温泉間はフル規格、武雄温泉駅で在来線と新幹線を同じホームで乗り換える対面乗換方式により開業しました。

一方、武雄温泉～新鳥栖間については、国と佐賀県との間で幅広い協議が行われていますが、地方負担やルートの決定、在来線の取り扱いなどの課題があり、未だ整備方式が決定していません。

本県としては、近年頻発化する豪雨災害などへの対応力強化や本県を含む西九州地域の経済活性化のために、一刻も早く未整備区間の整備を進める必要があると考えており、全線フル規格整備の実現に向けて、事業の必要性や効果を県内外へ発信するとともに、関係機関と連携した気運醸成や国への働きかけを行っています。



ながさき レシピ

長崎県の
おいしい食材を
使ったヘルシーな
料理を紹介します

今月の食材 ミカン

甘みと酸味のバランスが特徴の柑橘類。手で簡単に皮がむけ、手軽に食べられる食材です。ビタミンCが豊富で、皮膚や粘膜の健康維持を助けるとともに、抗酸化作用が期待できます。



料理コンテスト上位入賞のほか、長崎マイスターや優れた技能者長崎県知事表彰など受賞歴多数。テレビ番組や料理教室、学校の授業などで食の大切さや料理の楽しさを伝えているほか、子ども食堂など地域活動にも取り組む。



長与町の特産品ミカンを使った
甘みと肉のうま味が楽しめるメニュー

ポークステーキみかんソース

※写真は1人分

◎豚肩ロース 80グラム ◎塩コショウ 少々 ◎小麦粉 適量 ◎サラダ油 適量

【ソース】

◎ブイヨン 100cc ◎しょうゆ 大さじ1 ◎砂糖 大さじ1/2
◎はちみつ 大さじ1/2 ◎ミカン搾り汁 1/2個分 ◎ミカン果肉 1/2個分
◎水溶き片栗粉 適量

材料

2人分

つくり方

- 豚肩ロースの両面に塩コショウをし、小麦粉をまぶす。
- サラダ油をフライパンに入れて熱し、①の豚肉を焼く。両面を焼いて火が通ったら、器に盛り付ける。
- 【ソース】を作る。ブイヨン、しょうゆ、砂糖、はちみつを鍋に入れて温め、ミカンの搾り汁、果肉を加える。
- 塩コショウで味を調整、水溶き片栗粉でとろみをつけたら、②の豚肉にかけて完成

ポイント | 固くなるのを防ぐため、豚肉は加熱しすぎないよう注意してください。



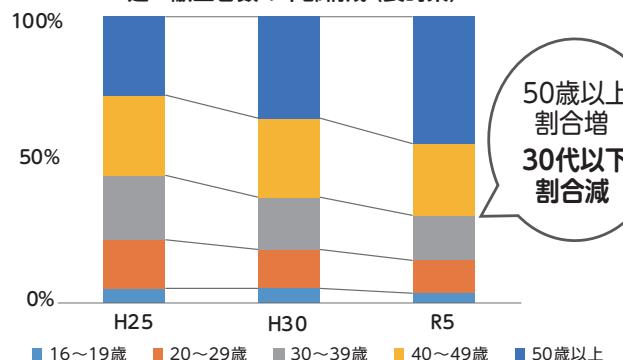
福祉・医療・子育ての情報発信

献血へのご協力をお願いします！

全国で1日約3,000人が輸血を必要としています。血液は人工的につくることも、長期間保存することもできないため、多くの方に継続的に献血へご協力いただく必要があります。



延べ献血者数の年齢構成（長崎県）



県内では若年層の割合が減少

左表のとおり比較的若い年代の構成比が減少傾向にあります。献血には年齢制限があるため、このまでは、今後、必要な血液量を確保することが難しくなると懸念されています。

献血は、身近でできるボランティアです。輸血を必要とする方々を支えるため、献血を始めませんか。

献血の基準など
詳しくは[こちら](#)



問合せ 県の薬務行政室 ☎095-895-2469

長崎県 薬務行政室

つたエ～ルげん

県内で頑張っている企業や人にエール(応援)を送ります!

一般社団法人
オルタナティブスクール おうち樂幸
(長与町)

代表

いけだ さき
池田 早希さん



「楽しく学ぶ」をモットーに 子どもたちの居場所を提供

「楽しく学校に通ってほしい」との思いで、不登校になった子どもたちに居場所を提供し、さまざまな体験を通して自信を付けてもらえるよう、子どもに合わせた学習に取り組んでいる池田さん。教育機関とも連携しながら、学校が合わない子どもや保護者の選択肢の一つとして注目されています。

教員だった母が、学校のことを毎日楽しく話すのを聞いて魅力を感じ、小学生の頃から教員になるのが夢でした。他の職業に憧れたこともありましたが、「子どもが好きで、友達と楽しむことも大好き。行事には全力で取り組む」性格なので、好きな事を続けられる教員になりたいと思い長崎大学教育学部へ進学。2009年4月から小学校教諭として3年間教壇に立ち、その後出産のため産休に入りました。

子どもを5人出産し、10年ほどは子育てに専念。復帰を考えていた頃、コロナ禍になり、制限のある学校生活はわが子の様子からも楽しくなさそうでした。当時、不登校も社会問題になっており、楽しく学校に通うにはどうしたらいいか考える中、福岡県糸島市のフリースクールを見学。「これならできるかも」と思いつつ、視野を広げるために熊本県のオルタナティブスクール^{*}に足を運ぶうちに自分がやりたいのはこれだと確信。2022年4月、オルタナティブスクール「おうち樂幸」を長与町に開校しました。

※公教育とは異なる独自の教育を実践する学校



小学生たちに学習指導をする池田早希さん

当校は公立学校で学ぶ国語や算数、社会、理科などを、自分のペースで学んでいます。モットーは「楽しく学ぶ」。地域の方と連携して茶道や登山、米作りなどの体験活動を取り入れ、人々と触れ合う中で「自分らしく生きる力」を育んでいます。子どもたちが籍を置く小学校や教育委員会と連携しており、体育や音楽、図工などは学校の施設を借りることも。学習記録は毎週学校と共有するので、出席扱いになります。

当校に通う子どもたちはさまざまな理由で居場所を探しています。当初「勉強が嫌い、苦手」だった子どもたちは、体験を通して自分らしさや友達と関わる楽しさを知ることで学習にも前向きになり、学ぶ楽しさを実感しています。

現在は小学生の部だけですが、2026年9月には中学生の部を開校予定です。自分らしく学ぶ場を求める子どもたちの選択肢の一つとなれるよう、今後も子どもたちが持つ可能性を伸ばしていきたいと思います。



稲狩りをしている様子

ながさきけん す がいこくじん
長崎県に住んでいる外国人
の方へ お金がいらない
相談窓口があります 無料
「在留資格のことがわからない」、
「病院に行きたいけど、不安」、「話だけでも聞いてほしい」そんなとき、気軽に相談してください。
21の言語とやさしい日本語で、あなたの思いを大切にしながら、一緒に考えます。日本人の方も利用できます。
とき 月曜～金曜 9時～16時
窓口 出島交流会館
(長崎市出島町)

095-820-3377
メール soudan@nia.or.jp
問い合わせ (公財)長崎県国際交流協会
095-823-3931

ながさきけんがいこくじんそだんまどぐち
長崎県外国人相談窓口

交通事故相談 無料

損害賠償や示談の進め方など、交通事故でお困りの方からの相談を受け付けています。

①電話・来所相談
窓口/交通事故相談所
県庁(長崎市尾上町)内
とき/月～金曜 9時～16時
※12時～13時、祝日、年末年始を除く

②巡回相談
県内各地で毎月開催しています。

とき	ところ
1月8日(木)	県北振興局 (佐世保市木場田町)
1月20日(火)	高城会館 (諫早市高城町)

※時間はいずれも10時～15時
※来所相談、巡回相談は相談日の2日前(土日、祝日を除く)までに電話予約してください。

問い合わせ 県の交通事故相談所
095-895-2342

長崎県交通事故相談所

QRコード

長崎県警察

QRコード

